日中花交流の中で巡りあった千年のバラ　玫瑰（めいぐい）

園芸コラムニスト　浦辺 苳子氏

卓話者紹介　　**高山　肇委員長**

学生時代から植物が好きで、フラワーアレンジの認定講師資格を取り、アメリカンスタイルの巨匠、ビル・ヒクソン氏に師従し、本格的に花の世界に入りました。2005年より学芸通信社の園芸コラムなどを出筆し、日中の花文化の研究をライフワークとしています。中国山東省平陰県のバラ鎮を訪れ、そこで栽培されている玫瑰の香りに魅了されました。山東省平陰県人民政府並び平陰県玫瑰産業協会より平陰県玫瑰推広大使栄誉称号を賜わり、中国の玫瑰を広めるため、「Flos Orientarium」を設立し、平陰玫瑰を食香バラ・千年のバラとの名称で販売を始めました。また、花を通して日本と中国の友好の絆の架け橋としての活動を生涯の使命としています。

学生時代から植物が好きで花の世界に入りました。花を活ける傍ら、自分が手にしている花や木々はどこで生まれ日本にやって来たのか、また、節句で使われる植物はどのような役割で使われるようになったのか等を調べると、ほとんどの花が中国から薬として遣隋使や遣唐使が持ち帰ったものでした。私は花を介し中国の様々な場所で、いけ花交流や花の故郷を訪ねる旅で民間交流を図ってきました。

中国山東省平陰県バラ鎮を知り、そこで栽培されている玫瑰の香りの素晴らしさに魅了され、バラ鎮に通いました。当初、冷たい対応の地元でしたが、何度も通ううちに打ち解け、当地人民政府の方々との親交を深め、2年前、私はバラを広めるバラ大使に任命されました。

平陰バラ鎮は、山東省平陰県にあり黄河が運ぶ肥沃な土壌に恵まれています。四方山に囲まれ 20 キロ近くの狭い渓谷を形成し、温和な気候で冬季や早春に雨雪が比較的多く、気温の上昇が穏やかです。開花期には雨が少なく、日照量も十分あり、病害虫が少ない環境です。

バラの谷の歴史は、唐代に慈浄と言う僧侶が翠屏山の麓に玫瑰を植えたのが始まりとされています。平陰では明の時代から玫瑰酒作りが始まり、清代に入るとバラジャム、バラ茶と用途が広がりました。

今回日本で紹介するのは、平陰で主力栽培されている豊華と紫枝の２品種です。豊華の正式名称は、平陰重弁紅玫瑰と言い、中国の食用バラとしてただ一つ認められているバラです。豊華は色が特に濃く花径平均 7ｃｍ、弁数平均 60 枚。多花性で芳香が強く、開花は一季咲き性です。紫枝は文字通り枝が紫色で、特に冬葉を落として休眠している姿は植栽としても美しく、花径平均 8m、弁数平均 21 枚、丈夫で四季咲き性のバラです。

平陰バラ栽培の面積は、現在 3，500ha で増加中です。そこで生産されるバラの花弁は年間 9，000 トンに及びます。5 月に玫瑰豊華の花が一斉に開花します。平陰では無農薬栽培が行われています。私は日本の検査機関で 273 項目の残留農薬検査と重金属の有無検査を 4 年間実施し、それらの無い事を確認して販売しています。

香は花びらに在り、花が開いたら直ぐに採取するため、花採取は日の出と共に行い、朝に摘んだ玫瑰の花を農家が加工会社に売りに行きます。厳しい品質のチェックを行い伝票に農家名と収量を記載します。集まった玫瑰の花は、品質や等級ごとにその日のうちに迅速に加工されてます。

医薬同源と言う言葉が中国にあり、香の良い玫瑰は観賞用よりも、食用、薬用として積極的に利用されてきました。その効能は≪本草網目≫の中に気分をほぐし、血行を良くし、肝機能を整えるとあります。アロマの世界でも、同じようなことが言われ、抗炎症作用、婦人の通経作用等の効能が言われています。

今、平陰では、様々なものがこのバラで作られています。生花を天ぷらにしたり、砂糖と花弁をよく混ぜて、大きなかめに入れて発酵させて作る醤。また、乾燥させた花をお茶にするとビタミンが豊富で、特に女性にとって有効な中医薬として利用されます。薬用以外に嗜好品としてもバラの香と味を楽しめます。蒸留して作る、ローズ精油は、玫瑰の花弁 4000ｋｇから 1ｋｇと四千分の一しか採れません。その香の素晴らしさは、フルーティーさを含む甘いバラの香りと突き抜けるような爽快感をもった香です。美容と薬理効果のある精油は、金より高く取引されます。オイルを採る過程でできるバラ水の化粧水は保湿成分が含まれ、肌荒れ、炎症を抑え、何より良い香が楽しめます。その他にも様々な化粧品が作られています。玫瑰はワックス分が他のバラより少ないのが食用に適した一つの要因です。

バラ栽培に適した土地と無農薬、咲いた直後の花だけを使う手間、玫瑰を愛する人達。それらによって作られた「オリエンタルローズ玫瑰」。東アジアで生まれた千年のバラ玫瑰です。

閉会点鐘　　**牛島　聡会長**

創　立/1993 年 10 月 13 日(平成 5 年)
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-2
ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾒｿﾞﾝ九段 906 号
Tel：03-3288-7300 Fax：03-3288-7400
E-mail：ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp
http://tokyo-orc.jp/

例会日 毎週水曜日　12:30～13:30
例会場 ホテルグランドパレス　Tel：03-3264-1111
会　長 牛島 聡　　幹　事 青木 隆幸
会　報 山下　秀一（委員長）山田　丈夫（副委員長 ）
土居岩生 木宮雅徳 小林大介 永井一史(委員)